



リンクを素早く選択するための方向キーの新しい使い方

前田 篤彦 日本電信電話(株) NTT サイバーソリューション研究所

〔受賞論文〕

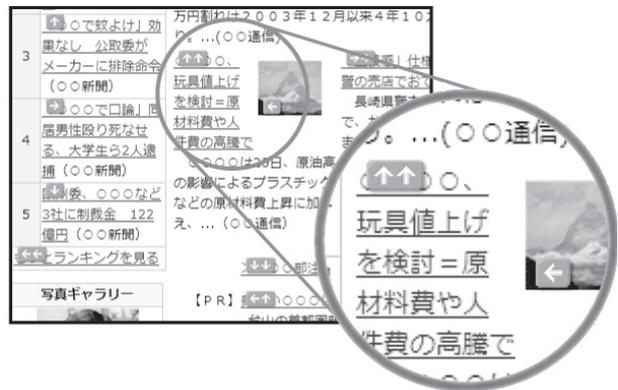
“矢印タグ”を利用したテレビ用ウェブブラウザ・リンク選択方式

前田篤彦(日本電信電話(株) NTT サイバーソリューション研究所), 稲垣博人(日本電信電話(株) NTT サイバー空間研究所), 小林稔, 阿部匡伸(日本電信電話(株) NTT サイバーソリューション研究所) 情報処理学会論文誌, Vol.51, No.2, pp.346-355 (2010)

このたび、本会論文賞をいただくことになった。他の研究者の素晴らしい論文がたくさんある中で、筆者らの論文が選ばれたことに深く感謝を申し上げたい。

本論文で提案した矢印タグ・インターフェースとは、テレビ画面に表示される Web ページのリンクを、リモコンで簡単に選択できるようにするための操作方式である。

この研究に打ち込んでこられた理由は、いろいろと試行錯誤しているうちに出てきた「方向キーをショートカットの入力に利用する」という本論文の基本アイデアを初めて実装し、体験してみたとき、最初のプロトタイプということもあって改善すべき点はいろいろあったものの「これは使える!」という感触が得られたことと、同時にその方向キーの使い方が大変奇異なものに感じられ、好奇心を掻き立てられたことにある。本来、方向キーとは、画面上に可視化された何らかのオブジェクトを移動させるために使うものであったが、本アイデアにおける使い方はそれとはまったく異なっていた。それでも、なぜか、うまく「はまっている」部分があるように感じられ、方向キーというデザインが持っているかもしれない、もう一つの可能性を探究してみることに意義があると思えた。



その後、荒削りだった最初のプロトタイプを改良し、基本アイデアの長所を引き出すための検討を続けた。たとえば、矢印記号列には認識しやすいものとそうではないものがあることを定量的に明らかにし、認識しやすいものを優先して利用するように改良した。

このような背景があり、ここまで認めていただけたことは大変うれしい。これからも、学会や社会に貢献することを目指して、がんばりたいと思う。

(2011年5月16日受付)

前田 篤彦 (正会員) maeda.atsuhiko@lab.ntt.co.jp

1998年武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業。2003年北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士後期課程修了。同年NTT入社。博士(知識科学)。